

令和 4 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 7		学校名		県立水戸飯富特別支援学校								校長名		武井 和志				
教頭名		大島 聖子				教頭名		寺門 宏美				事務長名		宮部 裕之					
教職員数	教諭	94	養護教諭	2	栄養教諭	1	常勤講師	11	非常勤講師	3	実習助手	2	事務職員	4	技術職員等	10	計	131	
幼児・児童・生徒数	部	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		合計		合計			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数			
	幼稚部																		
	小学部	13	4	10	7	10	1	22	2	18	3	18	5	91	22	24			
	中学部	13	9	18	9	20	4							51	22	17			
	高等部	16	11	11	6	19	6							46	23	11			

2 目指す学校像

◆朗らかで楽しい学校 ◆穏やかで安心できる学校 ◆和やかで信頼される学校
--

3 現状分析と課題

項 目	現 状 分 析	課 題
学習指導	・ 個別の指導計画、個別の教育支援計画、発達段階表等を一括化したことで、系統性・段階性のある指導が各教科で実践されている。 ・ 詳細な実態把握と自立活動の指導内容を踏まえ、特性に応じた教科指導の充実が図られている。 ・ P T、O T、S Tや大学教授等の外部専門家と連携を図りながら、専門的な指導・支援を行うことで、多様な視点での実態把握と指導レベルの向上が図られている。	・ 新学習指導要領に基づいた目標や内容の見直し、評価の工夫を行うことにより、日々の指導の充実を図る必要がある。 ・ 一人一人の障害特性に応じた指導を実践できるよう、専門家の意見を参考にしながら、日々の授業改善に努める必要がある。

キャリア教育	・キャリア教育全体計画に基づき、各部がライフキャリア、ワークキャリアの観点を意識して社会的・職業的自立を目指した支援に取り組んでいる。 ・児童生徒の社会参加を目指し、社会体験や現場実習等の場を多く設定し取り組んでいる。 ・キャリア教育や進路に関する情報をホームページやキャリア教育通信等で発信している。	・児童生徒一人一人に応じたライフキャリアやワークキャリアを見直し、キャリア教育を充実していく必要がある。 ・キャリアパスポートの活用を通して、本人の特性に応じたワークキャリア支援を充実させる必要がある。
研究・研修	・本校独自の自立活動手順シートを児童生徒一人一人の自立活動年間指導計画に位置付け、自立活動の指導の充実を図っている。 ・タブレット端末を活用した授業実践が増えてきているとともに、I C T機器を効果的に活用したな支援が各部で行われている。	・本校における「主体的・対話的で深い学び」が実践できるよう、全体研修等を通して理解を深めるとともに、モデル授業を示す必要がある。 ・GIGAスクール構想を受け、本校における個別に最適化された学びの実現のための授業実践の検討が必要である。 ・発達段階や障害特性に応じた教材開発ができる研修を実施する必要がある。
安全・安心な教育	・児童生徒の怪我・事故等の防止のため指導體制の確認、校内安全点検、環境整備等を実施している。 ・児童生徒に向けたシェイクアウト訓練や避難訓練等の防災訓練に加え、職員に対して、防災研修や引渡し訓練等を実施し、防災に対する意識の向上を図っている。 ・てんかん発作や食物アレルギー等、児童生徒の緊急時に備え、個別の対応訓練や救急法講習を実施し、適切な対応が実施できるようにしている。	・校舎内外の整理・整頓・清掃を推進し、危険箇所の発見とその対応を日常的に実施する必要がある。 ・様々な災害に対応する知識や技能に加え、自分の命を守ることができるスキルの習得に向けた指導を行う必要がある。 ・緊急時に適切な対応ができるよう、教職員の訓練等を継続するとともに、常に危機管理意識をもって指導を行う必要がある。

4 中期の目標

- 1 人権を尊重し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた創意工夫ある教育の実現
- 2 安全・安心で信頼される教育環境と危機管理体制の整備
- 3 保護者や地域から信頼され、魅力ある開かれた学校づくりの実現

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
1 一人一人の教育的ニーズ に応じた指導・支援の充実	① 的確なアセスメントを基に、発達段階に応じた指導・支援を行う。 ② 個別の指導計画、個別の教育支援計画の丁寧な作成と活用を図る。 ③ 新学習指導要領の目標・内容に基づいた指導の充実を図る。 ④ ICT機器の有効活用を推進し、多様な授業展開を図る。
2 健康で安全・安心な学校 づくり	⑤ 食育・保健活動の充実を図り、健康な心と体の育成を図る。 ⑥ 教育環境を整備し、安心して学べる学校づくりを目指す。 ⑦ いじめ・不登校・虐待等への予防的取組と組織的対応の充実を図る。 ⑧ コロナ禍における感染症防止対策の徹底を図る。 ⑨ 防災教育の充実と災害マニュアルを見直して緊急時対応の強化を図る。 ⑩ 業務改善を通して働き方改革を推進する。
3 自立と社会参加に向けた 教育活動の充実	⑪ 基本的生活習慣スキル（挨拶・整容・姿勢・言葉遣い・時間管理等）と豊かな心の育成を図る。 ⑫ 切れ目のない支援で、系統的なキャリア教育を推進する。 ⑬ 進路選択を促す体験的な学習の充実と実践を図る。 ⑭ 進路相談を充実させ、個に応じた適切な進路指導を行う
4 地域連携とセンター的機 能の充実	⑮ 保護者及び地域の関係機関との連携を強化する。 ⑯ 電話相談及び巡回相談の充実を図る。 ⑰ 本校教育活動を積極的に発信する。 ⑱ 特別支援学校間の連携を強化する。 ⑲ 地域交流・学校間交流・居住地校交流等の共同学習を推進する。 ⑳ 服務規律の遵守とコンプライアンス意識の醸成を図る